

招 集 期 日	平成 3 1 年 1 月 2 3 日 (水)		会議の場所	教育委員室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 2 時 3 5 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	平 野 博 之 委 員	欠 席	
柿沼拓弥教育長職務代理者	出 席	岩 崎 智 子 委 員	出 席	
高 瀬 賢 一 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	須永教育総務課長	細村学校教育課長
	小島学校給食センター所長	岡田生涯学習課長	水野スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会		1 月 定 例 教 育 委 員 会 を 開 会		
	教育長	教育委員会の会議は公開が原則となっているが、出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した場合は非公開とすることができる。本日の日程のなかで非公開とすべき案件はないため、全て公開としてよろしいか。		
		異議なしの声あり		
日 程 第 1				
前 回 会 議 録 の 承 認	教育長	12 月 定 例 教 育 委 員 会 の 会 議 録 に つ い て 諮 っ た。		
		異議なしの声あり		
	教育長	前 回 会 議 録 は 、 承 認 さ れ た 旨 宣 し た。		
	教育長	報 告 事 項 1 に つ い て 学 校 教 育 部 長 か ら 説 明 を 求 め た。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 報告事項1 平成30年12月定例市議会提出(教育委員会関係)議案等について</p>	<p>学校教育部長</p>	<p>野中一城議員から、「小中学校体育館へのエアコン設置について」一般質問があった。児童生徒の熱中症対策として、また、避難所に指定されていることから、体育館のエアコンの設置については、検討する必要があると考えているが、早期の設置は、現時点では難しい状況であることを説明した。その理由として、体育館の天井の断熱材や照明器具、窓ガラス等の「非構造部材」の落下を未然に防ぐための耐震化工事を全校で完了させる必要があること、老朽化した校舎の大規模改修が必要であること、既に普通教室に設置してあるエアコンについて、使用開始後5年が経過し、いずれは機器の入れ替えを検討しなければならないこと、学校体育館へのエアコン設置は、エアコン機器の取り付けのほか、受変電設備の増設等も必要なことから、多額の費用が必要なことなどを挙げた。市教育委員会は、児童生徒の健康・安全を確保するため、熱中症事故の防止に万全を期すよう各学校に通知しており、各学校では、気温と湿度から割り出される熱中症指数により、運動の禁止や強度の調整をする、体育館の窓や出入り口の扉を開け、少しでも風の流れができるよう工夫する、適切な休憩と水分補給をするといった対策を講じており、今後も、熱中症事故の防止に万全を期すとともに、エアコンの設置について、取組が進んでいる東京都をはじめ他の自治体の動向も注視しながら、児童生徒の健康、市民の安全・安心のため、研究を進めて行くことを答弁した。</p> <p>永沼正人議員から、「『重いランドセル』への対応について」一般質問があった。1点目の「実際に肩や首、腰などに痛みを訴える児童生徒を把握しているのか」については、ランドセルの重さが原因で、肩や首、腰などの痛みを学校に訴える児童生徒は、11月末現在1名で、学校で軽減策を講じ、現在は完治していることを説明した。2点目の「重いランドセルへの対応について文部科学省からどのような通知があったのか」については、文部科学省の9月6日付「児童生徒の携行品に係る配慮について」の通知の内容は、教科書やその他教材、学用品や体育用品等が過重になることで身体の発達に影響が生じかねないこと等の懸念や保護者等からの配慮を求める声が寄せられていること、教科書やその他教材等は、家庭での学習課題を適切に課</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>す等、家庭学習も視野に入れた指導を行う上で重要なものであること、各学校においては、このような重要性を踏まえつつ、教科書やその他教材等のうち、何を児童生徒に持ち帰らせるか、また、何を学校に置くこととするかについて、保護者等とも連携し、児童生徒の発達段階や学習上の必要性、通学上の負担等の学校や地域の実態を考慮して判断することといった内容であったことを説明した。さらに、工夫例として、宿題で使用する教材を明示し、家庭学習で使用する予定のない教材等について、児童生徒の机の中などに置いて帰ることを認めている事例、始業日は通学時の携行品が多くなることから、夏季休業中の登校日等に宿題や学習用具の一部を持ってくることにしている事例等が示されていることも説明した。3点目の「羽生市教育委員会は、文部科学省からの通知を受け、どのような対策を立て、学校現場へ指示しているのか」については、羽生市教育委員会は、9月7日に、文部科学省からの通知を踏まえて、児童生徒の通学時の持ち物負担軽減に向け、保護者と連携し、発達の段階や学習上の必要性を考慮した柔軟な対応を各学校に依頼し、校長研究協議会において、通知の主旨の徹底を図るため説明するとともに、より一層の改善を図るために、11月6日付事務連絡「児童生徒の携行品に係る配慮について」として発出し、家庭学習の想定のない教科書や学習用具を学校に置いておくなど、「子どもたちにとって何がベストなのか」という判断基準で工夫すること、家庭学習の想定のない教科書や学習用具を学校に置いておけるように、教室内の置き場所を工夫することを通知したことを説明した。また、現在、市内の各学校では、資料集などの家で使わない資料や宿題に出ていない教科の教科書等は、学校に置くことを許可していること、低学年で育てている朝顔やミニトマトの鉢は、保護者が取りに来るように促していること、夏休みの宿題や2学期に使う道具等はサマースクールの時に持ってきてよいことにしていることなど、現在は柔軟な対応をしていることを答弁した。</p> <p>丑久保恒行議員から、「いじめの実態と対応策について」一般質問があった。1点目の「羽生市における前年度までのいじめの実数、また、態様別」については、市内小・中学校のいじめの</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>認知数は、平成 25 年度においては 5 件、平成 26 年度は 6 件、平成 27 年度は 3 件、平成 29 年度は 13 件、平成 29 年度は 18 件であったこと、また、態様別は、からかいや悪口といった言葉でのいじめ、ぶつかられる、叩かれるといった暴力でのいじめ、仲間はずれや無視といったいじめが多い状況であるが、生命・身体に関わる「重大事態」は、現在まで 1 件もないことを説明した。そして、認知件数は国や県と同様、増加傾向であるが、教職員の意識が向上し、いじめ認知に対する趣旨を徹底したためであることを説明した。2 点目の「いじめに関してどのような対策を講じ、どのように対応してきたか」については、市内小・中学校の具体的な対策として、年間 3 回の「いじめ防止強化期間」の設定、児童生徒へのアンケート調査、教職員による校内研修会の実施、校内生徒指導委員会や教育相談委員会の定期的な開催、道徳教育の充実を柱とした「心の教育」の推進、保護者への啓発活動、教育相談体制の充実などを挙げ、市内小・中・高、地域ぐるみの連携した取組として、羽生市青少年健全育成地域フォーラムを開催し、生徒指導やいじめに関する作文発表や、インターネットや SNS のいじめに関する内容も含めた講演会を行っていることを説明した。また、市内各小・中学校では、「いじめ防止対策に関する基本方針」を策定しており、いじめを発見した段階で、管理職や生徒指導主任、教育相談主任等に報告し学校内で情報を共有して組織全体で対応を図っていることを説明した。3 点目の「専門職や有資格者たちとの連携、チームワーク力は、どのようになっているか」については、市内では、全中学校に、スクールカウンセラーを配置し、生徒、保護者のみならず、校区の小学校の児童や保護者の相談やカウンセリングを行っているほか、各校 2 名ずつ配置されている教育相談員が、教育相談活動を行っていること、さらに、市内には、県から配置されているスクールソーシャルワーカーが 1 名勤務しており、市教育委員会採用のスクールソーシャルワーカー 2 名とともに、不登校傾向やいじめ、問題行動等の児童生徒、保護者等の課題解決に向けた相談、管理職をはじめとする教職員へのアドバイスや対応を行っていること、いじめが発生したら、生徒指導主任や教育相談主任が中心となり、管理職の指示の下で組織的な対応を行っていることを説明し、専門職がかか</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2 平成30年羽生市教育委員会後援名義の承認等の状況について (7月～12月分)</p>	<p>教育長</p> <p>教育総務課長</p>	<p>わっている例としては、スクールカウンセラーがいじめの解決後、加害生徒とその保護者にカウンセリングを行い、約8ヶ月間かかわりを継続し、前向きな生活ができるようになったという事例や、スクールソーシャルワーカーが、小学校でいじめの認知があった際に、担任や管理職の聞きとりを行い、家庭訪問や学校外の関係機関との連携が必要であるか確認をし、かかわりを進めるなどの対応を行った事例を説明した。4点目の「専門職、あるいは、資格を持った人たちの、さらなる人材の登用、また、具体的な対策」については、今年度同様、全中学校にスクールカウンセラーを1名、教育相談員を2名ずつ配置予定であり、県のスクールソーシャルワーカーを1名、市のスクールソーシャルワーカーを2名、さらに、市教育委員会採用の臨床心理士2名を配置予定であること、具体的な対策として、児童生徒自らがいじめの問題を主体的に考え、その防止に取り組む機運を醸成するとともに、未然防止に向けた児童会や生徒会の取組が、いじめを許さない集団づくりに効果的であると考えていること、重大事態を防ぐために、臨床心理士などの専門職や学校、地域、教育委員会等のチーム力で対策を講じることが重要であると受け止めていること、さらに、「羽生市いじめ問題調査審議会」を開催し、審議員には市内各校のいじめの認知の状況、いじめの防止等のための対策について熱心に審議していただいております、重大事態が発生した場合は臨時に会議を開催すること、審議員は、「当該いじめ事案の関係者と直接の人間関係又は特別の利害関係を有しない者とする。」と定めており、今年度から2名の委員が変更となり、より公平、透明性がある構成員としていることを答弁した。</p> <p>報告事項2について教育総務課長から説明を求めた。</p> <p>後援名義の使用については、承認件数は教育総務課1件、学校教育課3件、生涯学習課10件、スポーツ振興課3件であり、不承認はなかった。共催名義の使用については、承認件数は生涯学習課で2件であり、不承認はなかった。教育長賞の交付については、承認件数は教育総務課2件、生涯学習課2件、スポーツ振興課1</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項3 平成30年度羽生市教育研究大会の開催について</p> <p>報告事項4 小・中学校における2学期の表彰の結果について</p>	<p>教育長</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p>	<p>件であり、不承認はなかった。協賛名義の使用と推薦名義の使用の申請はなかった。</p> <p>報告事項3から6について、学校教育課長から説明を求めた。</p> <p>2月13日に、産業文化ホールにて開催する。内容は、小林秀三教育賞・羽生市教育特別賞の表彰、南中学校の学校発表、新郷第一小学校のグループ発表、羽生南小学校の個人研究の発表のほか、国学院大学人間開発学部初等教育学科から杉田洋教授を招き、講演を行う。なお、全国プレゼンテーションコンクールの優秀校による発表を行う予定である。</p> <p>特に上位の表彰について報告する。羽生北小学校では、第48回「県民の日」記念作文コンクールで1年生の児童が知事賞、身体障害者福祉のための第60回埼玉県児童生徒美術展覧会で5年生の児童が特選、第53回「郷土を描く児童生徒美術展」で1年生の児童が特選を受賞した。新郷第一小学校では、第31回県民総合体育大会・第42回埼玉県なわとび選手権大会で4年生のチームが小学校長なわ1分間とび及び小学校長なわ3分間とびで第1位となった。新郷第二小学校では、第53回「郷土を描く児童生徒美術展」で3年生の児童が特選、身体障害者福祉のための第60回埼玉県児童生徒美術展覧会で3年生の児童2名が特選を受賞した。川俣小学校では、薬物乱用防止啓発ポスターコンクールで6年生の児童が埼玉県薬剤師会長賞を受賞した。井泉小学校では、身体障害者福祉のための第60回埼玉県児童生徒美術展覧会で5年生の児童が特選、第53回「郷土を描く児童生徒美術展」で6年生と2年生の児童が特選、第53回「郷土を描く児童生徒美術展」中央展で2年生の児童が知事賞を受賞した。三田ヶ谷小学校では青少年読書感想文全国コンクールで1年生の児童が特選を受賞した。羽生南小学校では身体障害者福祉のための第60回埼玉県児童生徒美術展覧会で6年生の児童2名が特選を受賞した。</p> <p>西中学校では、羽生市読書感想文コンクールで1年生の生徒が</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項5 平成30年度羽生市小林秀三教育賞受賞者について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>特選、埼玉県産業教育振興会北埼玉支部主催中学校技術・家庭科作品展で2年生の生徒が特選、第53回「郷土を描く児童生徒美術展」で3年生の生徒が特選、第62回J A共済小中学生書道コンクールで3年生の生徒が埼玉県教育委員会教育長賞を受賞した。南中学校では、埼玉県中学校新人体育大会(陸上)で駅伝女子チームが5位関東大会出場、第70回科学教育振興展覧会中央展で2年生の生徒が県教育長賞(第62回日本学生科学賞出展)、身体障害者福祉のための第60回埼玉県児童生徒美術展覧会で2年生の生徒が特選(県展に出展)、東中学校では、第53回「郷土を描く児童生徒美術展」で3年生と2年生の生徒が特選、身体障害者福祉のための第60回埼玉県児童生徒美術展覧会で3年生の生徒が特選を受賞した。その他、3中学校とも多くの部活動で県大会に出場している。</p> <p>今年度は3名が受賞した。新郷第二小学校の教諭は、特別活動主任として指導力が卓越しており、児童が生き生きと楽しく活動に取り組み、ユニークな集会等を創造し実践してきた。また、第57回全日本学校歯科保健優良校表彰優秀賞及び文部科学大臣賞の実地審査(公開授業)で貢献した。村君小学校の教諭は、外国語活動において高い専門性と実践力を有し、職務に対する責任感・使命感は他の教職員の模範である。また、様々な分野で高いスキルと経験を有しており、特に歌唱、書道、ITなどでは、職員の指導的存在となっている。東中学校の教諭は、特別支援学級主任として生徒の実態を踏まえ、課題を明確にした学年・学級経営案を作成し、適切な学年・学級経営を実践している。また、保健主事として、積極的に研修に努め、専門性の向上を図るとともに学校医・学校歯科医等と連携を図りながら、児童生徒の実態に即した保健管理の改善に取り組んでいる。そして、保健主事として、平成29年度第56学校歯科保健文部科学大臣賞受賞に貢献した。</p>
<p>報告事項6 平成30年度羽生市教育特別賞受賞者について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>これは、年度内に学校教育に関して他の模範となり実績をあげた教職員を河田市長が表彰する制度である。平成30年度より新設された。今年度の受賞者は4名である。新郷第二小学校の養護教諭は、第57回全日本学校歯科保健優良校表彰優秀賞受賞の原動力</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 平成30年度羽生市学校給食センター給食試食会の結果について</p>	<p>教育長</p>	<p>となった。南中学校の教諭は、陸上競技部顧問として、部員を第45回全日本中学校陸上競技選手権大会(女子800m)、第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会(男子1500m第6位)、平成30年度第27回関東中学校駅伝競走大会出場に導いた。東中学校の教諭は、野球部顧問として、平成30年度第43回関東中学校軟式野球大会に出場し、ベスト8に導いた。また、2018プロ野球ドラフト会議において、埼玉西武ライオンズに2位指名された、渡邊勇太郎選手を育成した。東中学校の養護教諭は、平成30年度全国学校保健・安全研究大会において、「歯・口の健康づくり」についての研究成果を発表した。また、第56回全日本学校歯科保健優良校表彰(文部科学大臣賞)受賞の原動力となった。</p> <p>報告事項7について、学校給食センター所長から説明を求めた。</p>
<p>報告事項8 平成30年度(第8期)子ども大学はにゅうの結果について</p>	<p>給食センター所長</p> <p>教育長</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>平成30年5月24日から12月13日までの期間で7回にわたり実施し、参加者数は110人、募集人員140人に対し78.5%であった。最近では、栄養士と情報交換を希望し、複数回参加している保護者も多くみられる。アンケートによると、参加者の90%が「美味しい」と回答した。今年度は、安全・安心な学校給食の提供と、学校・家庭・地域の連携を進めるための試みとして、食材の生産者の参加をお願いしたところ、実際に自分たちの生産物が給食に使われている現状を見て、一層頑張ろうと思ったとの話を聞くことができた。</p> <p>報告事項8、9について、生涯学習課長から説明を求めた。</p> <p>平成30年9月15日から12月8日までの期間に計4回の講義を実施した。会場は、主に埼玉純真短期大学で、3日目のみノールケンゾーとした。主催は羽生市教育委員会、埼玉純真短期大学、羽生ロータリークラブ、羽生青年会議所、羽生市青少年相談員協議会で組織することも大学はにゅう実行委員会、参加者は市内小</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>学校の4年生から6年生までの計20名であった。また、受付や授業の手伝い等のサポーターとして、こども大学の卒業生である8名の中学生、高校生が参加してくれた。1日目は、入学式の後、1時間目の「いつ作る？今でしょ！」(友達の作り方教えます!)では、埼玉純真短期大学の高橋先生を講師として学生同士のコミュニケーションをはかる為のゲームなどを行った。2時間目は「パラリンピックを体験しよう!」で、埼玉純真短期大学の伊藤先生を講師に、パラリンピック競技の「ボッチャ」を体験した。2日目の1時間目、「角帽を作ろう」では、青少年相談員4名が先生となって、修了式でかぶる角帽を作った。2時間目の「世界最速のワザを持つ食中植物ムジナモの不思議に迫ろう」では、誠和福祉高等学校の鱒坂先生が講師となり、映像やムジナモの実物を用いてムジナモの生態について詳しく紹介した。3時間目は「世界に一つだけ私だけのモバイルを作ろう」埼玉純真短期大学の小日向先生が講師となり、紙と針金を使ってモバイル作りをした。3日目は、ノールケンゾーでの開催となった。「はにゅうの産業と歴史を知ろう⑤」というテーマで、ノールケンゾーの井上店長が講師となり、羽生市がスーパー激戦区であること、季節を感じるレイアウトの工夫、コストコフェアーなどのお客様を飽きさせない取組について説明をしてくれた。4日目は、1時間目の「隣の国はどんな国?韓国ってこんな国」では、埼玉純真短期大学の金先生を講師として、韓国の料理や民俗衣装など、韓国の文化について学んだ。2時間目の「学習のまとめ」は埼玉純真短期大学の小沢先生が担当し、4日間の講義を振り返るまとめを行った。修了式では、受講生たちは2日目に作成した角帽を被って参加し、グループごとに学習のまとめの発表を行った後、修了証が授与された。昨年に引き続き、子ども大学の卒業生がサポーターとして8名も参加してくれたことで、良い異学年交流モデル事業となった。また、参加した子どもたちを対象としたアンケートによると、満足度が非常に高く、94%が「とても満足」という回答であった。特に、パラリンピック競技の「ボッチャ」の体験が好評だった。初めて聞く話や体験活動に子ども達が目を輝かせていたのがとても印象的であった。来年度も、参加型・体験型の事業などをさらに充実し開催していきたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項9 平成31年羽生市成人式の結果について</p>	生涯学習課長	<p>羽生市、羽生市教育委員会、羽生市成人式実行委員会が主催し、1月13日に羽生市産業文化ホールを会場として開催した。実行委員は3中学校の卒業生から4名ずつと公募の3名の合計15名であった。その他、準備委員として、来年成人式を迎える1つ下の学年から各中学校2名ずつ参加していただいた。今年は609名が新成人となり428名が式典に参加した。参加率は昨年よりも約5%下がり、70.28%であった。今年は新たな試みとして、式典前のオープニングにおいて、各中学校の思い出ビデオを上映した後に、羽生市出身の書家である白石玄雨氏による書道パフォーマンスが行われた。書かれた文字は、実行委員会にて決定した「翔」という漢字で、パフォーマンスの後に、ステージ上に掲揚したところ、大変好評であった。白石玄雨氏からは、「郷土羽生は、羽が生まれると書きます。皆さんはこれまでの20年間、飛び立つための翼を成長させてきたことでしょうか。人生は追い風ばかりではありません。たとえ向かい風であってもその風を力に変えて、夢や目標に向かって大きく羽ばたいてください。」という言葉をいただいた。今年も実行委員の一人ひとりが打ち合わせや準備の段階から熱意を持って取り組んでくれた。その結果、全ての行事が落ち着いた雰囲気の中で終了し、素晴らしい成人式であった。</p>
<p>報告事項10 第34回羽生市綱引選手権大会の結果について</p>	教育長	<p>報告事項10について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p>
	スポーツ振興課長	<p>平成30年12月9日に羽生市体育館にて開催した。参加者は、一般男子の部11チーム、一般女子の部9チーム、小学生の部22チームの合計42チーム401名であった。午前中に予選リーグ、午後に決勝トーナメントを行い、一般男子の部は、羽生市消防団が3連覇、一般女子の部は、へちまぐみが5連覇、小学生の部の優勝は、羽生三四六と仲間達、その他監督賞やねばり賞などの各賞を用意した。今回もコスチュームに力を入れたチームが多く、大会を盛り上げてくれた。今回は、昼休みの時間を利用して、スポーツ少年団野球部会の黒江賞の受賞式と合わせて、埼玉西武ライオンズにドラフト2位指名を受けた渡邊勇太郎選手の応援セレモニーを実施し、例年になく盛り上がりを見せた。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項11 企画展Ⅱ「発見！土の中に眠っていた羽生の歴史-屋敷裏遺跡を中心に-」の結果について</p>	教育長	<p>報告事項11について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>平成30年10月27日から12月2日までの31日間に渡り、郷土資料館にて開催した。入館者数は1,428名、1日平均46名であった。屋敷裏遺跡・茂手木遺跡・永明寺古墳等の出土品の土器、土偶、埴輪、金属製品など全193点の資料を展示した。関連企画として行った企画展関連講演会では、公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団の富田和夫氏を講師に招き、屋敷裏遺跡に関するを中心に講演を行った。参加者は、名簿に記載のあったのは47名だが、実際はそれ以上の人数であった。その他、11月18日に当郷土資料館の学芸員による展示解説会を行った。今回は県の教育委員会の協力により土器や埴輪など多くの考古資料を展示することができた。考古資料の展示会は、平成27年度の永明寺古墳展以来であったが、羽生市内外を問わず関心が高まっているため、今後も開催していきたい。</p>
	教育長	<p>報告事項に関して質問・意見を求めた。</p>
	柿沼委員	<p>小中学校の表彰の結果については、新郷第一小学校のなわとびや新郷第二小学校の美術など、学校による特色がよく出ている。受賞した児童生徒は、学校で皆の前で表彰されると思われるが、子どもたちにとっては誇らしく、励みになると思うので、是非指導を続けて欲しい。</p>
	教育長	<p>夏休みの宿題等で、子どもたちが提出した作品を各学校の先生が選んで出品するという仕組みが多いと思う。そうすることにより、絵画に力を入れている学校等、取組の違いが表彰の結果に現れると思うが、いかがか。</p>
学校教育課長	<p>教職員の個性や得意分野があるので、絵画に力を入れる学校、作文に力を入れる学校等があると考えている。</p>	

会議事件名	て ん 末	
	教育長	羽生市教育特別賞が今年から新設された経緯について、伺いたい。
	学校教育課長	河田市長から羽生市の頑張っている先生方に何か賞を出せないかということで、お話をいただいたことが始まりである。そこで、比較的長期な視点で表彰する羽生市小林秀三教育賞とは別に、年度内で、全国大会や関東大会レベルの活躍をした教職員に特別賞という意味合いで表彰するものである。教職員達の励みになれば良いと考えている。
	教育長	今回特別賞を受賞した東中学校の教諭は、この度文部科学大臣表彰を受けている。大変名誉なことであり、これまで頑張ってきた成果の現れである。
	高瀬委員	基準は、関東大会出場以上であるか。
	学校教育課長	今回の受賞者は関東大会出場以上となったが、その他の視点でも活躍した教職員がいたら、あまり基準にとらわれず表彰していきたいと考えている。
	教育長	発案した河田市長は、その他、地道に頑張っている先生にも光をあてて表彰したいという思いもあるようである。
	岩崎委員	市議会で質問のあった、通学時のランドセルが重いことや、いじめの実態や対応は、保護者としても心配なことである。最近では、私立の小中学校等で、軽量化した背負うタイプのカバンが増えてきている現状を踏まえ、カバン自体の軽量化の対策はいかがか。学校に教科書を置いておくことについては、そうすることによって宿題を持って帰るのを忘れて、盗難やいたずらがあったりと、先生方の負担が増えてしまう部分にも配慮して進めていただきたい。また、いじめの関係については、スクールカウンセラー等の尽力により、たとえ教室に入れなくても、学校には行ってくれる子どももいるようなので、更に子どもが教室に行けるよう、専門家の力を借りて改善していけると良いと思う。

会議事件名	て ん 末	
	学校教育部長	<p>実は、ランドセルで通学するよう通知している学校は1校もなく、昔からの慣習でランドセルを持たせるのが当たり前になっている。ランドセルそのものの素材は昔に比べると軽くなっているが、A4 対応のため、サイズが大きくなってきている。今年、各小学校で任意に抽出し、2 学期以降のランドセルの平均の重さを計ったところ、各校の指導の効果により 1.5 キログラムほど軽くなっている現状である。しかし、これから先は、子どもの負担軽減のため、ランドセルとは別のものに変えようという動きがでてくるだろうと思われる。現在学校では、学校に置いたままにして良い教材等について教科ごとに指定することを始めている。その事自体も、教職員にとっては負担となっているだろうと思う。学校に置いておく物が増えれば、盗難やいたずらの心配も増えると思われるが、これについては今後、校長会や教頭会、生徒指導委員会などで話題にして管理等を徹底していきたい。いじめ・不登校の問題については、いじめが原因で長期間不登校になっている例を聞いてはいないが、人間関係がうまくいかず不登校になる例がある。また、精神的な痛手で不登校になる子どもがいる半面、怠け型の子どももおり、対応については非常に難しい。後者は、誘えば学校へ来ることが多いが、前者の場合は、誘うことが逆効果となり、本人にとって学校が行きづらい場所になってしまうこともあり、再復帰、再登校を促すかどうかは学校の生徒指導委員会、教育相談部会や、スクールカウンセラー、場合によっては適応指導教室とも連携をとりながら、個々に合った対応を考えている。</p>
	高瀬委員	<p>子ども大学の4日目の韓国の文化についての講義では、料理、服装の他に、どのような話があったか。</p>
	生涯学習部長	<p>講師の金先生は、永く日本に住んでいて、箸の使い方など、食事の時のマナーの違いや、お正月の遊びの違いなどを話してくれ、子どもたちは特に楽しそうに聞いていた。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p>教育長</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p>	<p>異議なしの声あり</p> <p>次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。</p> <p>2月定例教育委員会は、2月14日 午後2時30分から教育委員室にて開催する。</p> <p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>